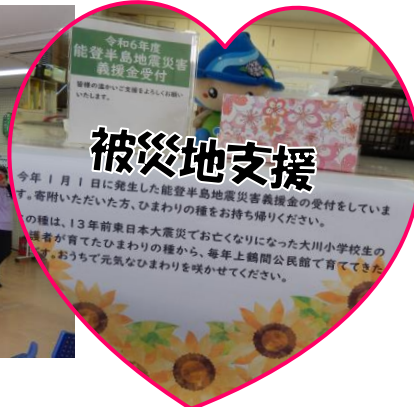


集えば楽し、公民館 3月9日(土)、10日(日)

## 第37回 公民館まつり復活開催



元気いっぱい!よさこい祭  
(レク・ダンス ひまわり)



会場の皆さんから寄せられた義援金は、  
日本赤十字社を通じて能登の被災地へ



相模原市立谷口中学校美術部制作

今年の公民館まつりは、久しぶりに発表、展示、催し、模擬店、全4部門の完全復活で、晴天にも恵まれて一日中、人出の途切れない大盛況となりました。

大会議室でダンスや詩吟など13団体による華やかな発表公演があり、コミュニティ室には写真や水彩絵画、彫刻、書道、手づくり品など、公民館利用団体や個人参加の方々の作品が数多く展示されました。鶴園小学校6年生の「SDGs 活動報告」も異色な出品で目を引きました。ロビーと和室では、魚つりゲーム、囲碁自由対局、水彩画実演などの催しがありました。

また、4年ぶりに復活した模擬店は、いつもながらの人気で、とん汁、焼きそば、コーヒーなど、どのお店も混雑100%。みんなニコニコ、大満足で終わった公民館まつりでした。会場の運営や作品展示などさまざまな形でご協力頂いた皆さん、ありがとうございました。(館報編集委員 渋谷)



展示室にはたくさんの力作が並びました



久々に模擬店も開き  
皆さんゆっくり寛いで  
話に花が咲いていました



魚つりゲームは大人気!!子ども達は  
夢中になって大物を狙っていました





# 新春コンサート 邦楽ユニット「あさきゆめみし」

文化部主催 1/14 (日)



「あさきゆめみし」は、金子朋沐枝さん(尺八)、坪井智子さん(箏)、設楽聡子さん(※十七絃)全員が東京芸術大学音楽学部邦楽科を卒業した同級生でかつ相模原市在住の邦楽ユニットです。

今回のコンサートは、有料にもかかわらず約80名の近隣にお住いのお年寄りから子どもまでの多くの方が集まり、盛大な新春コンサートとなりました。約2時間で、アンコールも含めて9曲がユーモアを交えたトークとともに一気に演奏されました。日頃聴きなれない和のアンサンブルに皆、聴き惚れました。

最後に演奏への感謝を込め花束贈呈が行われ、幻想的なコンサートが終了しました。

(町田ハイツB 小笹)

※邦楽合奏において低音域を担当する箏より少し大きい絃楽器



## わんぱくチャレンジ⑤ スイーツ作りにチャレンジ

青少年部主催  
2/18(日)



パティシエの生方さんを講師に迎え、お菓子作りが行われました。多数の応募者から抽選で選ばれた小学生20名が参加しました。会場にはエプロン姿の子どもたちが集まり、ベイクドバナナタルトに必要な生地やアーモンドクリーム作り方も教わりました。

タルト型につめた生地を苦労して均一の厚さにしたり、作ったアーモンドクリームにスライスしたバナナを乗せそうにトッピングしたり、焼き上がったタルトを落とさない様に慎重に型から外したり、お菓子にまつわるクイズをしたりと、楽しく充実した時間を過ごしていました。

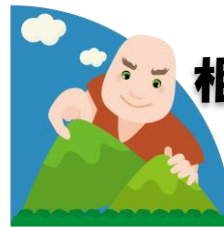
子どもたちは、一生懸命作った自分のタルトがどの様な味になっているのかを考え、わくわくしながら会場をあとにしたことと思います。

(パークスクエア相模大野 藤原)



## 民俗学講座 相模原に伝わる 不思議な話

文化部主催 2/18 (日)



冬の寒さも緩みはじめたこの日、文化部主催の文化講座「相模原に伝わる不思議な話」に行ってきました。毎回多くの参加者が訪れる文化講座、今回もほぼ満員での開催です。

講師に市立博物館の山本菜摘学芸員を迎え、大きく分けて①巨人デリラボッチ、②大蛇退治、③嫁通らぬ橋、④上鶴間に伝わる話、と4つの見出しでさまざまな興味深い話が展開されました。相模原には鹿沼、菖蒲沼、といったいくつもの沼がありますが、伝承では巨人デリラボッチが休憩した時の足跡が沼になったとか。その筋では、かなり有名な話とのこと(かつて、民俗学者の柳田国男氏も訪れたとか)。

その他、境川やそこにかかるいくつもの橋にまつわる話など、地形や風土、当時の世相も絡めた話に、みなさん熱心に聞き入っていました。私も話に出た所に行ってみたくなりました。

(谷口 渡邊)





# パパと一緒にときどきママも 「筋トレダンス」

1/20(土)



講師の後藤洋子さんと新井恵さん

フィットネスインストラクターの新井さん・後藤さんの指導のもと、7組の親子が参加しているような体操をしました。

子どもは1歳から6歳と年齢の幅があるため、なかなか大人の思うようには動けないこともありましたが、子どもを遊ばせながら一緒に体を動かして、なかなかいい運動のようです。フラフープなどの道具を使って自由に遊ぶ時間もありましたが、パパたちもそれぞれの子どもに上手に合わせていて、普段から子どもの相手をしているんだろうなあと感じました。

1回の講習で終わらずに、室内で小さな子どもと安心して遊べる広い場所がいつもあると嬉しいですね。  
(館報編集委員 小林)

いろいろな動きを  
します



## 卓球大会

体育部主催 2/11(日)



ひんやりとした体育館でラジオ体操から始まった卓球大会。館区内だけでなく、館区外からもたくさんの参加者で盛り上がり、会場はあっという間に熱気でいっぱいになりました。

午前はシングルス。初心者の部はルールの説明、指導から始まり、一般の部は白熱した戦いで決勝は親子対決！拍手と歓声が飛び交いました。

午後はダブルス。きょうだい、夫婦、初対面のペアでも絶妙なプレーで会場を沸かせていました。

今年はパリ五輪が行われますが、もしかしたらこの会場からも未来の代表選手が生まれるかも知れませんね!!  
(南新町 川原)



## かみつるまひまわり食堂 (子ども食堂)



\* 私たちはカレー弁当などを通して子どもや大人をつなぐ地域づくりを目指しています。

\* 特に、ひとりで食べるお子様や大人、子育て中の保護者の方々共働き世帯を応援します。



同時開催しています

絵本の読み聞かせ (1階多目的ルーム)

子ども衣類のリサイクル (2階ホール)

【開催日時】 毎月第4土曜日開催

正午~13:30

【場所】 上鶴間公民館 2階 料理実習室

【参加費】 お子さま(中学生まで) ¥100- 大人 ¥300-  
(75歳以上の方 ¥100-)

※完全予約制です

連絡先担当 市川 090(8310)7432



ホームページQRコード

公民館では、こんな活動もやっています!



館長のつぶやき:おもむろに目をうつすと、花がみえる季節になりました。

がみつるま **てくてく**  
歩いてみよう! ⑪

さんしちよ  
**渋谷翁算子家の碑**



江戸時代末期から明治の初めにかけて和算(日本独自に発達した数学)術で名を挙げた渋谷廣行翁の徳をたたえる碑です。甲斐国の陰陽和算の池田永祐に弟子入りをし、算木(木製棒の計算用具)を用いた高等和算を究めたため、その教え子たちが形見として頂いた算木を埋め、その上に石碑を建て一同の気持ちを表したものです。

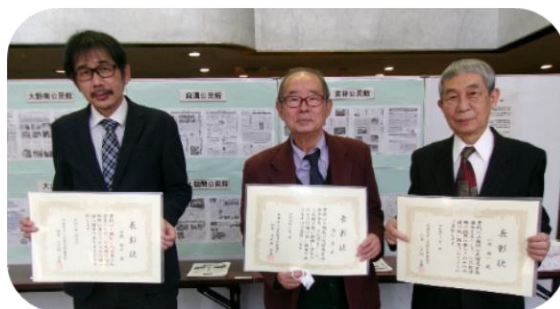
～ガイドさんからのひと言～

和算というに関孝和が有名ですが、渋谷翁のような和算家が郷土にいたことは驚きであり誇りでもあります。



## 相模原市公民館連絡協議会 功労表彰を受賞

2月3日「相模原市公民館のつどい」において、公民館連絡協議会より表彰されました。これは長年公民館活動にご協力いただいた方に贈られるものです。



写真左から、生野さんは青少年部員、浅利さんは運営協議会委員・文化部員、松崎さんは運営協議会委員として上鶴間公民館の運営にご協力いただきました。

おめでとうございます。そしてこれからもよろしくお願いします。

最初の演目は、年越しに必要なお金を借りようと知恵をしぼる主人公と、いくらでも貸す気の人のいい叔父さんとのちぐはぐな掛け合いが笑いを誘う話。もう一席は古典落語の「転宅」。まぬけな泥棒が空き巣に入った妾宅で、一枚上手の女に翻弄されるという話です。  
佐輔さんには、美人過ぎる落語家という異名があるそうですが、華やかで明るい高座に、満席の皆さんも大笑いで大満足。  
年末の慌ただしい時期でしたが、皆さんには、気持ち良い息抜きとなった落語会でした。

(館報編集委員 渋谷)



昨年12月17日(日)に文化部主催の「年忘れ落語会」が開催されました。出演は相模原市出身の女性落語家「古今亭佐輔」さん。好評のため当初の予定を増やした45名の定員も、すぐ売り切れとなりました。



## 地域デビュー全力応援! 協力員募集!!

あなたの好きなこと、得意なことを活かして、地域で活動してみませんか? 上鶴間公民館では私たちと一緒に活動していただける協力員を募集しています。

文化部: 講演会やコンサート、社会見学などを企画、運営  
体育部: 体を動かすことが好きな方

青少年部: 小学生対象の工作や社会見学などを企画、運営  
館報編集委員会: 公民館報の取材や編集作業

※詳しくは公民館窓口、またはお電話で 042-749-6611

ホームページでは館報をカラーでご覧いただけます。

上鶴間公民館

検索



## あとがき

早いもので、もう新年度ですね。歳をとると一年があつという間だよ、とよく両親が言っていました。本当にその通りだと感じる今日この頃です。

昨年度は公民館まつりや体育祭などの様々な行事が行われ、私自身も小学生を対象としたわんぱくチャレンジの「スイーツ作り」の講師を務めさせて頂き、地域の方々の新たな繋がりと交流が持てました。

このような地域のイベントは、地域の見守りや支え合いにも繋がります。住みやすい街づくりに繋がる重要な役割を担っているのではないのでしょうか。

鶴舞 生方